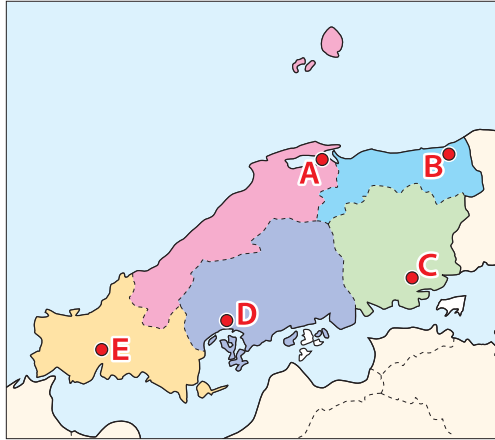


オバマ氏 広島で追悼

1. 記事中の傍線①の広島市は、地図中A~Eのどこか書きなさい。



2. 記事中の② には広島ともう1カ所、日本で原爆が投下された都市が入ります。漢字で書きなさい。

3. 記事中の③ には、広島に原爆が投下された日が入ります。それはいつですか。

年 月 日

4. この記事を読んで、どのように感じましたか。

「核なき世界へ勇気を」

現職米大統領が初訪問

被爆者と交流



広島市の平和記念公園を訪れ、被爆者の森重昭さんを抱き締めるオバマ大統領。27日午後（ロイター共同）

オバマ大統領が27日、被爆地広島^①の平和記念公園を訪れ、原爆慰霊碑に献花。被爆者を含む全ての戦争犠牲者を追悼した。現職米大統領の広島訪問は初めて。所感で「われわれは歴史を直視する責任を共有している」と述べ、人類史上初めて米軍が核兵器を使用した広島^②の記憶を風化させてはならないと強調。「核保有国は核兵器なし世界を追求する勇気を持たなければならない」と決意を表明した。

【オバマ大統領の所感全文6面、関連記事2、3、6、7、9、32、33面】

②

戦後71年で実現した歴史的訪問で、オバマ氏は被爆者や^③の被爆者らと前に約17分間にわたり所感を述べた後、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）代表委員の坪井直さん（91）に歩み寄り、言葉を交わした。米兵捕虜の身元特定に尽力した被爆者の森重昭さん（79）と抱き合う場面もあった。

オバマ氏は所感で「71年前、世界は変わった。女性や子どもを含む10万人以上の日本人、多くの朝鮮半島出身の人々や米国人捕虜を追悼するために来た」として、「広島は真実を教

の記憶は風化させてはならない」と述べた。「戦争そのものについて考えを改めなければならぬ」と訴え、紛争阻止や解決へ外交努力を尽くすべきたと強調。広島と長崎を「核戦争の夜明け」としては、道徳的な自覚の「始まり」の地とすべきだと述べ、所感を締めくくった。

一方、終戦を早めたとする「原爆正当化論」が根強い米世論に配慮して原爆投下の是非については踏み込まず、謝罪はしなかった。オバマ氏は平和記念公園に到着後、最初に安倍氏と共に原爆資料館を約10分間見学。安倍氏もオバマ氏に続いて所感を述べた。（共同＝豊田祐基子）

（2016年5月28日付1面）